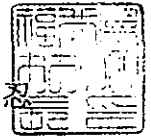




おい建発第8086号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

福井県おい町長 時岡



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月29日付、国道企第37号にて依頼のありましたみだしの件につきまして、別添のとおり提出いたしますのでよろしくお願いいたします。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

福井県おおい町

今後の道路政策のあり方について、最も大切なことは国民、地域住民にとって真に必要な道路整備に取り組むことが肝要である。

しかし、一部には道路政策に対する過大投資、或いは工事発注にかかる談合問題などに対し、国民の厳しい指摘があることも事実であり、道路整備を巡る様々な問題への対応は、過去の反省も含め、今後中長期的な視点に立って政策を実施する必要があると考える。

こうした背景の中で、地方自治体として我が国の道路政策を議論するとき、大都市圏と地方住民の交通格差の現実を強く認識すべきであり、地方は自動車交通なくして生活権は確保できない現状にある。

特に、国、地方を通じた行財政改革、構造改革の中で市町村合併が進み、地方自治体は、それぞれの厳しい環境の中で新町建設計画を進め、町づくり、地域振興を推進している。

今後、地域の活性化を図る上において、地域生活圏と産業の市場圏の拡大、地域独自の産業や観光資源を生かす基盤づくり、また、地域生活を支えるための医療サービスや、生鮮食料品・生活物資等の流通サービスを広域的に享受できる交流基盤の確保、或いは事故・災害や渋滞に対する高速定時サービスの信頼性を高める交通ネットワーク(高速交通ネットワーク、地域幹線道路ネットワーク)の整備は、広域交流の実現と活力ある地域づくりに不可欠の政策である。

②-1 地域の現状と抱える課題

福井県おおい町

○現状

本町が位置する福井県嶺南地域は、京阪神都市圏と日本海地域とを結ぶ要となる位置にあり、海や里山に代表される美しい自然、“都文化”との古くからの交流を背景とした多くの歴史的・文化的遺産、伝統工芸など豊富な観光資源がある。

また、原子力発電所の立地による全国有数の電力供給地域であるとともに、エネルギー関連技術やこれを支える人材などが集積している。

平成 18 年 3 月 3 日、合併により誕生したおおい町は、地方の宿命ともされる少子高齢化と過疎化の波にさらされ、住民が互いに支えあうことのできる地域社会の形成と、次代を担う子供たちを健やかに育むことのできるまちづくりなどが求められている。

また、旧町村地域間の施設機能の連携強化や、地域間交流を深めるための道路交通網整備が立ち遅れており、スリムで効率的な行財政運営の推進など、合併の効果がよりいっそう発揮されるよう、まちの融和と発展に向けた環境づくりが望まれている。

○課題

・交通網の整備

高速交通網や地域内交通網の整備を図る必要がある。

(路線名 舞鶴若狭自動車道、国道27号、国道162号、主要地方道坂本高浜線、主要地方道小浜綾部線、県道岡田深谷線)

・地域経済の発展と雇用機会の充実

第一、第二次産業の衰退に伴い、町内就業率の低下傾向が続いているが、優れた自然環境や、利便性を高めた交通網、通信網の利用を図り、発電所が立地することなどを活かして、新たな産業の創出が求められる。

・自然と歴史、文化にふれあう広域的観光の推進

自然を活かした観光交流拠点の整備、観光と結び付いた地域産業や歴史と文化を活かした地域振興、受入れ体制の整備と情報発信を図る。

②-2 地域の目指すべき将来像

福井県おおい町

21世紀においておおい町がさらに飛躍を遂げていくためには、海や山、川、里の自然、交通網や通信網など、すぐれた立地環境を十分に活かしつつ、“人”“物”“情報”の交流を促進し、広域や地域の発展に寄与する役割や価値を創造していかなければならない。

同時に、社会の潮流の変化とともに、人々の暮らしの基盤となる経済社会や、価値観が多様化する人の意識の変化にも的確に対応していくことが必要である。

さらには、自然と人が共存し、人や地球にやさしいまちづくりとともに、本町に住み、働き、学び、憩うすべての人々が、精神的なゆとり、健康、生きがいなどあらゆる面において、いっそう魅力ある暮らしが展開できるまちづくりを目指していかなければならない。

また、本町が生活の場、産業活動の場として、さらに発展していくためには、住民と行政が協働し、多様なまちづくりの課題について着実に取り組むとともに、安定したまちの経営基盤を確立していかなければならない。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

福井県おおい町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域経済の発展と地域間交流の促進	舞鶴若狭自動車道 小浜西ICから敦賀JCT区間の早期整備	舞鶴若狭自動車道の全線開通は“人”“物”“情報”の交流を促進し、おおい町の「新たな価値」を創出するものであり、地域経済の発展のみならず、多様な地域間交流の促進に寄与するものである。	
・総合防災対策の推進	国道27号(敦賀市～高浜町)の改良整備	国道27号は福井県嶺南地域の大動脈とされる道路であり、阪神大震災以降の利用頻度は格段に増加し、防災対策上の避難道路として最も重要とされるものである。	
・住民交流の促進	主要地方道坂本高浜線の整備	早期の改良整備により、自然災害のみならず、原子力災害も視野に入れた総合防災対策の推進に寄与するものである。	
		本路線は、旧町村地域を結ぶ唯一の道路であり、改良整備を一日も早く完了し、住民交流の促進や施設機能の連携強化を図ることが、合併の意義を実現することとなる。	

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

福井県おおい町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・既存施設の維持管理	既存道路施設維持管理費(道路補修・道路除雪・橋梁の長寿命化等)に対する恒久的な財政支援施策	国、地方を通じた行財政改革・構造改革の推進の中で、公共土木施設、特に道路施設の維持管理費は年々増大する傾向にある。 恒久的な財政支援を施すことにより、健全な行財政運営が図られることとなる。	